

第11回市民公募

応募総数2,448点
たくさんのご応募
ありがとうございました！

君が好き!あなたが大事!

「家族だんらんの日」手紙・作文集



六人部小学校 2年 なみえ まな 浪江 真奈



大正小学校 6年 あした なな 芦田 菜愛

「家族だんらんの日」にちなみ、家族や地域への思いや大切な人へ、日頃伝えられない気持ちを「手紙・作文・標語」として募集し、応募点数二四四八点の中から一〇点(作文四五点・絵手紙二五点・標語四〇点)を選考し、文集としてまとめました。

◎「家族だんらんの日」ってなんだろう??

「家族だんらんの日」は、家族の絆・人と人との絆・地域の絆を確認しあい、次代の福知山を担う子どもたちの健全育成を市民総がかりで推進する取組として策定しました。

◎「家族だんらんの日」の取り組み方は?

一人ひとりが大切な存在であり、人と人とがつながりあっていることを認識しあえる、そんな「家族だんらん」になればどんな取組でも結構です。

明日の福知山を担うこともたちの育成や、住んで良かったと思えるまちづくりにつなげるため、皆さま一人ひとりのご協力をお願いいたします。





修音小学校 1年 つねとう ゆうと
常藤 悠人



夜久野小学校 1年 しんどう らんか
進藤 蘭翔



大正小学校 3年 あしはら あん
葦原 杏



六人部小学校 2年 ほり しゅんすけ
堀 隼輔



大正小学校 2年
ことう しゅな
後藤 樹那



六人部小学校 1年
かけひ はるや
笈 遙陽



大正小学校 1年
おのぎ ふるか
小野木 楓華

手紙・作文の部

ママのいうこと

いつもべんきょうをおしえてくれてありがとう。もっというところは、せんたくをしてくれることです。せんたくしてくれたいは、いいにおいできもちがいいです。ママのにおいがするからうれしいです。いつもかんしゃしています。

大正小学校 一年 大田 夕瑞

あかちゃんがげんきでうまれてきてくれたら、みるくをおねえちゃんがいっぱいあげるね。

おおきくなったら、こうえんにいってぶらんこしようね。

えほんをたくさんよんであげるね。

あかちゃんげんきでうまれてきてね。

大正小学校 一年 今井 陽葵



ついに会ったよ

東京にいるいとこがはじめて家に来てくれたので、トランプやかくれんぼをして遊びました。

夜ねる時は、明日何をして遊ぶかわくわくしました。そして、いとこが家から帰る日になって、さびしいけどまた会える日を楽しみにするようになりました。

おばさんからおそろいのかわいいヘアゴムをもらいました。いつもつけていると、遠くにいるも心が近くにあるような気がしてうれしいです。

惇明小学校 三年 中村 彩愛

ぼくには弟と妹がいます。ある日、出かけ先でみんなでアイスクリームを食べました。外があついですとけそつになりました。

一番下の妹は食べるのがおそいので、アイスクリームがおちないかしんばいで、ぼくと弟は、妹がアイスクリームを食べるすがたをみまもりながら食べていました。

けんかが多い兄弟ですが、その日はみんなわらいあい楽しく食べました。

上川口小学校 三年 浅葉 颯

去年かっていたかぶと虫が卵をうみました。

その卵は成虫になり、家族みんな大よろこびでした。しかしある日、家族での話し合いがありました。かわいくて大切なかぶと虫だけれど、虫かごの中にいる人生でいいのかなと。

ぼくは、一ど外に出してみても、とんで行ったらバイバイして、とんで行かなかつたら虫かごでおおうと言いました。かぶと虫の気もちになって家族みんなで話し合えたことは、とてもよかったです。

成仁小学校 三年 黒川 結都

母ちゃん、父ちゃんありがとう

ぼくは、ありがとうが二つある。

一つ目は、母ちゃんへだ。

いつも、いつも朝三時におきて、朝ごはんを作ったり、せんたくものたたみをしてくれて、ありがとう。

二つ目は、父ちゃんへだ。

ドライブの時に、いつも運転してくれてありがとう。勉強をみてくれてありがとう。

そんなありがとうがいっぱいあった父ちゃん、母ちゃんをぼくは大好きだ。

惇明小学校 三年 塩見 聡一朗

夏休みにひいおばあちゃんの家に遊びに行きました。

ぼくのひいおばあちゃんは、八十八才ですが元気です。いつもつえを使ってゆつくりと歩いています。そして、おいしい物をたくさん買ってくれるやさしいひいおばあちゃんです。

そんなひいおばあちゃんとぶどうを買いに行った時、ぼくはこげないように手をひいていっしょに歩いてあげました。ひいおばあちゃんにはまだまだ長生きしてほしいです。

成仁小学校 三年 塩見 海翔

ぼくには、今年から一年生になった弟がいます。今年から中丹しえん学校に通っています。言葉をしやべるのが苦手です。学校に行きかけてから少しずつ、しゃべれるようになってきていますが、まだまだです。弟が好きなことは、本を見ることで、いつも本を見ています。たまにけんかしますが、ぼくは後ではんせいしています。

これからは、ゲームやキャッチボールなどでいっしょに遊べたらいいと思います。いつもおうえんしています。

上三小 小学校 三年 高山 晴空

八月に赤ちゃんが生まれました。わたしとつて二人目の弟です。赤ちゃんを見てみると、家ぞくやおじいちゃんおばあちゃんもみんなえがおになります。

あかちゃんのこととわらうかおや、いっしょけんめいミルクをのむすがたがともかわいくて大好きです。わたしは赤ちゃんが泣きそうになったら、だっこしたり、ミルクをのませたりしています。赤ちゃんが生まれてきてくれて本当にうれしいです。生まれてきてくれてありがとう。

昭和小学校 三年 畑 ちはる

ぼくが伝えたいありがとう

ぼくは、一才十か月の時病気になり、一年間の入院と一年三か月の通院をしました。その四か月後、ぼくの病気はさい発しました。半年入院し、いしょくもしました。この長いちりょうの間、子ども病院、いりょうセンター、ふ立いの先生、かんごしさん、薬さいしさん、えいようしさん、ほいくしさん、他にもたくさんの人に助けられました。みんなにありがとうを伝えたいです。そして、ぼくが今元気にすごしていることを伝えたいです。

惇明小学校 三年 櫻井 瑠菜

はじめてのプール

ぼくは、家のにわでかわいい妹とはじめてプール遊びをしました。

妹は、十か月ではじめてプールに入るから心ばいしたけれど、ぼくが一しょに入ったらとてもよろこんでいました。ぼくのマネをして水をパシャパシャたたいているのがかわいかったです。お父さん、お母さんはわらっていて、いっばいしゃしんをとってくれました。みんなで遊んでいると、近所のおじさんが、かわいいねといってくれて、みんながプールで遊んでいるのを見てくれてうれしかったです。

惇明小学校 三年 永砂 颯大

大すぎなおじいちゃんとおばあちゃん

わたしはおじいちゃんとおばあちゃんが大すぎです。なぜかというところ、いろいろなことをしてくれるし、やさしいからです。おじいちゃんは草かりやお米作りをしています。おばあちゃんは野さい作り、ごはん作り、草ひきなど二人ともいろいろなことをがんばっています。そんなおじいちゃんとおばあちゃんがすごいと思います。あつい夏やさむい日にもたくさんがんばっています。これから、コロナにまけず元気に生きてほしいと思います。

雀部小学校 三年 出野 優羽

わたしの家族は、なかよしでいつも笑顔です。たまには、けんかもするけど、その日のうちになかなかりをすることがルールです。わたしはお兄ちゃんとよくけんかをするけど、いつの間にかいっしょに遊んでいます。ごめんねも言っていないのにふしぎです。友だちはごめんねの一言がないとなかなかりができないから、家族はとくべつなんだなと思いました。これからも、わたしだけのとくべつな家族を大せつにしていきたいです。

大正小学校 三年 町元 杏美

天国のじいちゃんへ

じいちゃんがなくなつて三か月たちました。ときどき、ふとじいちゃんのことを思い出します。お母さんも私と同じで思い出すそうです。なぜかなあ。私はふしぎに思つて、おぼろさんにきいてみました。おぼろさんは、「おぼろさんの心の中におじいちゃんがいるからだよ。」と教えてくれました。じいちゃんにはたくさんしかられたけど、それは大切なことを教えてくれていたんだなあと感じました。

惇明小学校 三年 水谷 綺希

家族

ぼくは、今ここにいます。あたりまえだけど、家族がいたからだ。ぼくは、思う。「もし家族がいなかったら」家族がいなかったら、ぼくは、生まれていないかもしれない。そう思うとなんだかこわい。今までこんなに考えたことはなかった。

家族のおかげで、ぼくは、いるのだなと思う。お母さんは家事をしてくれるし、お父さんはいろいろな事を教えてくれる。弟や妹は家族を明るくしてくれる。家族がせなかをおしてくれるから何にでもとりくめる。家族がいてよかった。

「これからは、家族みんなに今までよりもっとかんしゃしていきたいな」

夜久野小学校 四年 足立 侑

「ここが家は」

福島に住むおじいちゃん、おばあちゃん、ひいおばあちゃん、この間、いもけんぴとかさつまいもチップスとお父さんの小さい時の写真を送ってくれてありがとうございます。お父さんの小さい時と、今のお父さんがあまりかわつてなくて、とてもおもしろかったです。

いもけんぴもとてもおいしかったから手がとまりませんでした。

昭和小学校 四年 鈴木 悠仁

たくさんの人へのありがとう

とつぜんですが問題です。わたしをえがおにしてくれた人は何人でしょう。

- ① 五人
- ② 二十人
- ③ 五十人

正かいは五十人です。本当？と思つた人もいます。まずは、家族のみんな。私は四人家族です。友達、クラスのみんな、など考えるときもつづいてると思います。その人たちを大切に、ありがとうを伝えていきたいです。

惇明小学校 四年 本藤 晴花

夏の間には、せつでんたいさくで、家族全員で同じ部屋でねています。ねる場所は、決まっていますが、日によつてちがう所でねたくなる時があります。すずしい場所をみつけないなっています。

でも、ねている間に動いてるの、朝おきると、頭と足がぎやくになつていたり、となりにいる人がかわつていたりします。ベッドから落ちていたりする時もあります。ねごとを言ったり、キックしたり、ねている時にぎやかです。わたしの好きな時間です。

成仁小学校 四年 廣瀬 瑠真

家族が世界一

ぼくは、とっても大好きな家族とみんなでご飯を食べている時間が一番大好きです。なぜなら、一緒に話したり、なやみ事があつたら相談したり、いろいろなふだんではできない話をいっぱい話せるからです。そして、ぼくにはお兄ちゃんがいるゲームの話とか宿題の話をし、お母さんとは学校の話やお母さんの仕事の話をします。お父さんは、みんなが笑える話をしてくれます。

そんな家族が世界で一番大好きです。

三和小学校 四年 水谷 豪太

わたしの家の近くはどろろがせまいです。そのせまいどろろでスピードを出す車があります。子どもも多くいるので、お父さんと地いきの人たちが、わたしたちのために交通安全のはたをたくさんたててくれました。そのはたは、けいこうの黄いろで、すぐく目立ちます。車の人もそれを見て安全運転をしてくれるようになったと思います。わたしたちをまもるために、このような取り組みをしてくださいれしかつたし、かんしゃの気もちでいっぱいです。

昭和小学校 四年 氷上 奈莉

ぼくのお母さんは、一日もかかさずにとてもおいしいごはんを作ってくれます。たまにカップラーメンかパンの時もありますが、いつもおいしいごはんを作ってくれることはかわりないです。

ハンバーグやピザ・カレーライス・チャーハン・ステーキ、たん生日の日はケーキまで作ってくれます。いろいろありますが、ぼくは中でもカレーライスが好きです。もっとあります。ラーメンも好きです。いろいろ作ってくれて感しゃしています。これからもお母さんにいろいろ作ってほしいです。

昭和小学校 四年 竹下 徹

いつもありがとう。お母さん

いつも、ごはんをつくってくれてありがとう。いつも、せんたくをほしてくれてありがとう。いつも、わがママをきいてくれてありがとう。まだまだあるけれど作文のマスがたりないよ。

今回は、「お母さん」であいうえお作文をつくってみました。

① そうじをしてくれてありがとう

② たづけをしてくれて

③ ありがとう

④ みしうとまそぼろをいれてありがとう

⑤

「ん」は作れなかつたよ。ごめんね。

惇明小学校 四年 林田 葵

「つわっ、まぶしい」

ぼくの朝は、お父さんに照らされることから始まる。ぼくは一階におりてごはんを食べる。そして、着がえる。そのあと、学校へ行くじゅんびをする。ここまできたら、ぼくはほっと一息つく。テレビでニュースを見る。のんびりしていたら、お母さんの声がとんでくる。

「じゅんびできたか。時間やで」

ぼくはあわててとびだす。こんな朝が好きだ。

成仁小学校 四年 矢敷 碧波

お母さんへ

いつも見守ってくださり、ありがとうごさいます。日々反抗的な行動をしてみません。バスケの時や学校のこと嫌なことがあつた時、相談に乗ってくれてありがとうごさいます。

毎日僕のことを応援してくれてありがとうごさいます。これからも僕のことを一生懸命応援してください。その応援で僕は元気がいっぱい出ます。

それと、お母さんが笑った顔がいちばん好きです。これからも笑って生きてください。

六人部小学校 五年 松原 丈

お父さんへ

七月二十二日のことを覚えていますか。そう、七月二十二日はうどん屋さんのオープンの日です。オープン前日、お父さんは、「がんばるぞ」といっていましたが、最近仕事終わりがつられていますが、だいじょうぶですか。

でも、仕事終わり家に帰ってきて家のこととかしていますね。わたしは、そんなお父さんをそんけいしています。

おねがいだからあまり無理をせず、つかれているときはしっかりと休んでください。おねがいします。

六人部小学校 五年 芦田 空優

ぼくは生まれてから十年間、ずっと一人っ子でした。けれど、今年の三月にお兄ちゃんになりました。なぜかというとお母さんの妹に赤ちゃんが生まれたからです。ぼくが歌を歌ったり、おどったりすると、うれしそうにわらってくれます。その顔を見ると、ぼくは温かい気持ちになります。本当の弟ではないけれど、本当の弟のように思っています。

昭和小学校 五年 森本 優音



さいきん雨がたくさんふっているので、水書について話し合いました。まず、家は安全かどうかをみんなで考えました。家族の意見と自分の意見が同じで、しん水の心配はないことが確認できました。けれど、お母さんに周りには土しゃくずれがある場所があると言われました。自分も確かにそうだと思います。大雨のときは、家にいることを家族全員が確認しました。命に関わる大事なことを話し合えてよかったです。

成仁小学校 五年 石束 勇真

「だんらん」という言葉を辞典で調べると、「親しいものたちが集まって楽しく時を過ごすこと」と書いてありました。

ぼくの家で考えてみると、お父さんは、一週間ごとに夜きんなので、その週は一しよにご飯が食べられません。お母さんは、残業で帰りがおそいので、一しよにごはんを食べることが少ないです。

ぼくの家ではだんらんができていないのかわからないけれど、一しよに食べられる時にいっぱいしゃべるので、これがぼくの家のだんらんかなと思います。

遷喬小学校 五年 栗野 奏太朗

ぼくの父は、家作りの仕事をしています。土をほったり、鉄筋を組んだり、コンクリートを流しこんだりして、家のきそ部分を作っています。天気や天候に左右されます。暑かったり、寒かったり、雨がふったり雪がふってもくじけずに、お客様や家族を笑顔にするために日々がんばっています。

ぼくはそんな父を見て、ぼくも家族のためにお手伝いをして、むだづかいをしないようにしたいです。ぼくも父のようにいろんな人を笑顔にできるような人になりたいです。

遷喬小学校 五年 小澤 遥翔

おばあちゃんへ

家に行ったら大かんげいしてくれてありがとう。うれしーよ。

お昼ごはんは、そうめんがめちやくちやおいしいです。おなかですいたときは、がんばれば五はい食べられます。それくらいおいしいです。

お昼ごはんが終わったら、川に魚つりに行くことが楽しいです。また、連れて行ってね。

いつもいつもいっもやさしくしてくれて、ありがとう。

六人部小学校 五年 井上 琉生

ぼくのお父さんはいそがしい。家に早く帰った日も、ぼくがねる時間からまた仕事をして、朝も早いからゆっくり話せない。でも今年の雪がとけたある日にお父さんが「走ろう」と言ってぼくを起して、ランニングをした。それからほぼ毎日、ぼくたちは走っている。ねむくてつらい日もあるけど、ぼくはお父さんにいろんな話をしながら楽しく走っている。話しながらだから、タイムは速くならないけれど、その時間はぼくにとって特別なのだ。

遷喬小学校 五年 家木 温都

私の家族

私の家族は四人家族です。夏休みに入って新しい家族がふえました。犬の「えん」です。名前を決めるとき、家族みんなが心おだやかに一緒にくらしませますように、という思いで決めました。一緒にくらし始めて一週間がたちました。初めてのことがたくさんあるけど家族みんながとっても幸せです。これからこのえんを大切にしたいです。

三和小学校 五年 船木 寧音

お母さんへ

いつもいやなことを言ってお母さん。本当は、心の中で「ごめんなさい」や「自分が悪いのに」と思うこともありましたが、でも次の日、お母さんの笑っている顔を見ると、心があたたかくなった気分です。うれしかったです。これからも、おこられないように、そして、お母さんがいやな思いにならないようにしていきたいです。

六人部小学校 五年 植村 奈央

僕には、高知にすむおじいちゃんとおばあちゃんがいます。しかし、コロナウイルスが流行し、三年間会えていませんでした。今は、電話で顔を見て話すことができるので、会えなくても元気な姿が見られ声が聞けていました。でもこの前、三年ぶりに会うことができました。一緒にごはんを食べたり、話したり遊んだりしてとても楽しかったです。電話で元気な姿を見れるのもうれしいけど、実際に会って話したりすることの方がとても大切だなと感じました。

昭和小学校 五年 長田 權

見守り隊の方へ

わたしはいつも、見守り隊の方のおかげで楽しく安全に学校にいけています。見守り隊の方があいさつをしてくれるたびに、わたしは、「きょうも一日がんばるぞ」という気持ちになります。わたしも、見守り隊の方が、「きょうも一日がんばるぞ」と思えるように、しっかりあいさつを心がけたいと思います。

遷喬小学校 五年 吉原 星那

夏休みにおじいちゃんとおばあちゃんの家でたつきゆうをしました。おばあちゃんがたつきゆう部だったので、とても上手でびっくりしました。けど、一番びっくりしたのは、いつもゆっくりなおじいちゃんが速い球をうつたり、早い動きをしていたのでびっくりしました。わたしのターンがきてあまりなれていなくてむずかしかったけど、お姉ちゃんがやさしく教えてくれました。おばあちゃんみたいに上手ではなかったけど、家族みんな笑顔になりました。

成仁小学校 五年 上田 彩月



ぼくの家は四大家族です。低学年の頃までは、家族そろって夜ご飯を食べることが多かったけれど、最近は、ぼくやお姉ちゃんの習い事がそれぞれあって、時間がバラバラなので、一緒に食べるのがすっきり減ってしまいました。

当たり前だと思っていた形が少しずつ変わっていくことに気づきました。

家族だんらんは、いつでもできると思っていたけど、意外と今の形は今だからこそできるんだと気づけたので、もっと家族との時間を大切にしたいです。

昭和小学校 五年 竹下 瑠月

たけした るい

夏休みに、宿題で家族の朝ご飯を作りました。

ご飯、みそ汁、玉子焼きを作るのに、一時間かかってやっとできました。一食作るのに、こんなに時間がかかりました。お母さんは、三食ご飯を作ってくれます。大変だなと思います。残さずしっかり食べたいと思います。

お母さん、いつもご飯作ってくれてありがとう。

遷高小学校 六年 芦谷 公輔

あしたに こうすけ



夏休み中、お母さん、お父さんは仕事で、お姉ちゃんも部活で、わたしに何かできることはないかと思いましたが、でも、料理はむずかしいので、みんなの好きなクッキーを作りました。

最初は、焼き時間が長くて、こけてしまったけど、二回目の時は時間を調整してクッキーを焼いたらうまくできました。家族はこげたクッキーもおいしいと言ってくれました。

またおいしい料理を作って、みんなを笑顔にしたいと思いました。

成仁小学校 五年 藤原 穂花

ふじわら ほのか

お兄ちゃんへ

四月から一人暮らしを始めましたが、さみしくありませんか。いままでは五人で食たくを囲んでいたけど、いまは一人ですよね。やっぱりさみしいですか。ぼくは、少しさみしいです。五人で食べるご飯と一人で食べるご飯はちがいますか。さみしくなったりしたら帰ってきてね。

遷高小学校 六年 西井 健太

にしい けんた



僕が気持ちを伝えたい人は、今、静岡県にいます。なぜなら、僕のところは、二十さいを超えてから仕事などでいそがしく、ここ最近会えていないからです。だから、気持ちを伝えたいというよりは会いたいです。そして、一緒にサッカーをしたり、釣りをしたりして遊びたいです。

前に会った時は五年生で、僕が静岡県に行ったので、福知山にもぜひ来てほしいです。最後に伝えたいメッセージは、「また一緒にサッカーしよう」です。

昭和小学校 六年 鎌谷 壮真

かまたに そうま



ありがとう

ぼくは、お父さんが大好きです。いつもお父さんは、家族のために一生懸命仕事をしています。お父さんは、料理ができてすごいと思います。その中でも、からあげが最高においしいです。なんでもできるお父さん。かっこいいです。

ぼくも、大人になったらお父さんみたいに料理ができるようになりたいです。毎日ありがとう。

三和小学校 六年 西山 潤にしやま じゆん

以前ぼくは、「トンカツを食べたい」とおばあちゃんに言っていました。それから数日が経ち、トンカツを買ってきてくれました。覚えていてくれたんだ、とうれしかったです。カツどんにして家族全員といっしょに食べました。何か手伝いをしようとしたけど、別に大丈夫やで、と言われました。おばあちゃんには感謝がありません。

いつまでもこんな日が続きますように。

昭和小学校 六年 高木 颯良たかぎ そら



家族だんらんの日

夫婦で「我が家にゲーム機は購入しない」と、決めた。

毎日、「トランプ」「オセロ」「将棋」、それが終わると、読み聞かせ、就寝。我が家にとつて、そして、私にとつて思い出される「家族だんらん」である。忙しい毎日、子どもたちはどう思っているのかと気にしながらも巣立っていった。「この人と結婚する！」と紹介してくれた彼女も保育士。なんだか嬉しかった。

それぞれの「家庭」でそれぞれの「だんらん」がある。今は、息子夫婦なりの「家族だんらん」をしていることを思いながら、私たち夫婦の「家族だんらん」がある。

藤澤 貴子（保育士）ふじさわ たかこ



妻子と私の三人家族です。私が福知山に単身赴任の為、会えるのは年間三十日程度です。帰った時は皆笑顔。別れる時は皆涙。

帰宅した際は、私がハヤシライスや豚肉巻き等、料理を作るのですが、美味しい、美味しいと言って食べてくれます。些細ですが、そんな事に幸せを感じます。威厳の無い私ですが、ジエnderの時代であれば、それもありがたも。

私の留守を守ってくれてありがとうございます。十月のチエロの演奏会を楽しみにしています。

藤永 聡ふじなが さとし



標語の部

かぞくでたべると えがおいっぱい
おなかいっぱい

成仁小学校 一年
福蔵 ゆき

にらめっこ へんがおキング
おうちねこ

遷喬小学校 一年
土田 梨月



かぞくのわ みんなのえがおが
えびるねー

大正小学校 一年
金川 璃音

「おはようー」
ぼくのびんきなあいつに
かぞへせつじへ

惇明小学校 一年
吉川 颯真

けんかもいっぱいするけど
いないとさみしい
ぼくのきょうだい

上豊富小学校 一年
前田 歩夢

かぞくだんらん みんなのえがおが
あふれる おうち

成仁小学校 一年
山本 湊

「おはよう」
そのじつは すいっちおん

遷喬小学校 一年
桑原 虹太

ぼくのおはようで
みんながげんきになる

三和小学校 一年
西山 青志

おさがりのワンピース
「入学しきこいひん」と

おかあさん

これぞ三だい目 エエですわ

大江小学校 二年
眞下 心乃衣

かぞくはね だいじにしよう
たからもの

夜久野小学校 二年
津田 あいり

はじめてのキャンプ
がんばるおとうさん かっこいい

大正小学校 二年
岡田 真楓

手まきずし かぞくみんなで
まーきまき
みんなでたべるとおいしいね

成仁小学校 二年
十河 桜

わらって ないて けんかして
こころのたいそうー
心も体も元気よく

大江小学校 二年
野口 桂那

ぼくがそだてた ミニトマト
かぞくみんなに ひつじょう

遷喬小学校 二年
水光 朔弥

今日も あしたも あさっても
毎日わが家は かぞくだんらんの日

遷喬小学校 二年 衣川 悠太

一ばんのいちごは
かぞへるとして いただきます

成仁小学校 二年 多田 鳳汰

釣りに行き じいちゃん一番
うれしー

六人部小学校 三年 吉良 颯真

いっしょにます えがおでしゅっぱい
がごほうび

遷喬小学校 三年 堀 遙音

おかえりよ やせつひびく
母の声

三和小学校 三年 細田 楓菜



こたご会つまでまっしてね
大きくなったぼくのこつ

六人部小学校 三年 小笠原 悠真

みんなでつくる ひつひつが
家の味

上豊富小学校 三年 真下 結生

心がほかほかあつたかい
おいしいごはんみんなのえがお

遷喬小学校 三年 大津 里穂

妹と二人で作った朝ごはん
おいしいよつて お母さん

六人部小学校 三年 山本 杏奈

ぼくは、家族のおうえん団
家族は、ぼくのおうえん団
なかよし家族

大正小学校 四年 後藤 龍輝



ぼくの名前の由来 知って分かった
自分だけの自分のもの

庵我小学校 四年 田中 大耀

何気ない 会話が家族の
えいよこ

遷喬小学校 四年 四方 恒希

テレビ電話も いいけれど
やっぱり会いたい 夏休み

六人部小学校 四年 木崎 稜太

テレビ見て またひとつわらい
へいわだな

遷喬小学校 四年 足立 千聖

こないでと 言ったけど
おじいちゃんを探した 発びよう会

六人部小学校 四年 荒木 楓花

手伝うよ その一言で みな笑顔

上豊富小学校 五年

まつがみ
松上 直希
なほき

当たり前なんかじゃない
家族と共に 今いることや
今生きていることは

大正小学校 五年

たきがわ
滝川 葉月
はづき



ご飯中 みんなで作る 会話の輪
たくさん咲かそう 笑顔の花

成仁小学校 六年 田中 叶愛
たなか とあ

父母の 笑顔が良いね 楽しいな

大正小学校 六年

やまかわ
山川 桃加
ももか

大きな背中 今も昔も変わらない
その存在は
とても大きくあたたかい

成仁小学校 六年 山元 日葵
やまもと ひまり

不器用に汗かき べそかき家事育児
つかれもとんだ パパありがとう

たにがき
谷垣 信吾
しんご

生きづらい 世の中だから
共に笑顔の 声かけを!!

いわき
岩木 昌子
まゆこ

家族だらんの日

我が家は

犬族・猫族の大家族

ただただ

みんなが癒される

草むらで幼き子らが

追い駆けついで転んでも

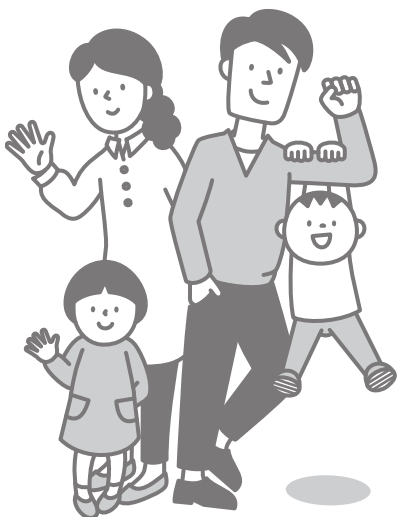
笑い声が出る

夏の暑い日々が過ぎてゆく

ふくばやし
福林 弘祐
こうすけ

なにもない 一日こそが 幸運日

たけむら
武村 博美
ひろみ



おいしいなあ

ばあちゃんの野菜は 宇宙一!!

上豊富小学校 六年

しみず
清水 綾乃
あやの

本誌の作成にあたり、応募作品の選考に協力いただいた、こだま教育研究員の中から、次の皆様に「家族だんらんの日に思う」と題した手記を寄稿いただきました。(順不同)

- 河北 由香
- 岡部 善男
- 中川 雅子
- 葦原 亜美
- 田和 浩
- 小森 弘毅

「家族だんらんの日に思う」

お正月、家族のだんらん中に亡き祖父の話題になった。優しく濃厚だったが、小学生の頃祖父の怒りに触れ、家の外に放り出されたことがあった。何をしたのか全く覚えていないが、昔は躰としてそういうこともあったのだ。ちょうど買い物帰りに家の前を通った近所のおばちゃん、勝手口前でしゃがみこんでいる私の姿を見て声をかけてくれた。「おばちゃんが一緒に謝ってあげるわ。」と、祖父に話をしてくれたおかげで、私は無事に家の中に入ることができた。祖父との懐かしいエピソードとともに、よその子も自分の家族のように可愛がってくれた近所のおばちゃんの優しさを思い出し、心が温かくなった。

コロナ禍になり三年、帰省の自粛など、人と人の距離を感じる話題を耳にする機会が増えた。急激な社会の変化は、家族の形にも大きな影響を与えているようである。

私はどうだろうか。帰省し、一人暮らしの母の

もとを訪ねる。「仕事はどうや？」「がんばってるか？」「ちゃんと食べとるか？」いつもと変わらない調子、大きく曲がった腰、台所を向いた背中から聞こえてくる。子供の頃からずっと同じような場面を見てきたが、家族の形と聞いて真っ先に浮かぶのはこの場面である。コロナ禍になり、帰省の回数が増えたのは、母の健康を気遣ってという理由もあるが、不安定な社会の中で、安心できる時間や場所を求めているのだと気がつく。改めて、家族について考え、感謝する。

時代の流れとともに生き方の選択肢は広がり、現代にはステップファミリー、シングルペアレント、同性カップル、子どものいないカップルなど、多様な「家族」の形が存在します。私は子どもを授かることができなかつたけれど、一匹の猫と夫がそばにいる人生に幸せを感じています。

しかし、温かく幸せな「だんらん」は当たり前ではありません。家族という逃げられない呪縛に苦しんでいる人もいます。たとえ家族であつても自分とは違う他者であり、互いにわかり合うためには想像力が必要です。多様な「家族」の形、その数だけ存在する「だんらん」を大切にしたいものです。

「家族だんらん」言葉の意味を調べてみると「団」と「樂」はともに丸いという意味で、団樂は丸く輪のようになって座る、集まって仲睦まじくするという意味があつた。

テレビ一台を囲み、家族が集まつて過ごす。そんな昔の生活様式と共にあつた「家族団樂」の形は、共働き世帯の増加や情報社会の変化と共に形を変えつつあるようにも思う。「家族の時間」が子どもの成長に影響するとも言われている。

忙しい日々の中、家族の時間をつくるのが誰かの自己犠牲になつてもならない。時間やお金でもなく大切なのは心が満たされているかどうかだ。家族一人一人にとつて楽しめる時間を共有し、子どもの成長を支えていきたい。

我が家では、週末になると子どものサッカーや野球の送迎と手伝いをして過ごします。家族だんらんができる時間がなかなかありませんが、一番だんらんができるタイミングと言えば、行事や季節の催しごとを楽しむ時でしょうか。節分で豆をまいたり、ひな人形を出したり、誕生日を祝つたり、慌ただしい日々の中でもそうしたことに関しむことで、自然と家族だんらんができるように思います。

きつと昔から行事が続いているのは、その中でだんらんがあり、人と人がつながつていくからなのかなあと、ふと思ひながら、これから行事や季節の催しごとを大切にしたいと思ひます。

コロナ禍でなかなか実現できなかった「実家でお正月」をようやく実現できました。久しぶりに実家で過ごす中で、いつのまにか実家を出て過ごした時間が、実家で過ごした時間を上回っていることに驚きを感じ、今では少なくなつた三世帯世帯、共働きの両親の代わりをしてくれた祖父母のことを思い出しました。こういう時代だからこそ家族と過ごす毎日が幸せだということ、感謝の気持ちをもって過ごすことが大切だということを改めて感じました。子どもたちにも家族との時間を大切にして欲しい。そのために自分自身が家族への感謝の気持ちをもって子どもたちの前に立つていきます。



昭和小学校 1年
きら りくと
吉良 碧人



夜久野小学校 1年
よしかわ ゆみ
吉川 楯珠



六人部小学校 1年
かわきた なゆ
河北 七柚



六人部小学校 1年
おがさわら ねね
小笠原 寧紗



昭和小学校 2年
こたき りんか
小瀧 凜夏



修斉小学校 1年
ふじわら いちか
藤原 一千花



修斉小学校 1年
だんの きいか
段野 希衣果



昭和小学校 2年
たけした まお
竹下 真央



昭和小学校 2年
まつした
松下 かなで



昭和小学校 1年
まつした てるや
松下 輝哉



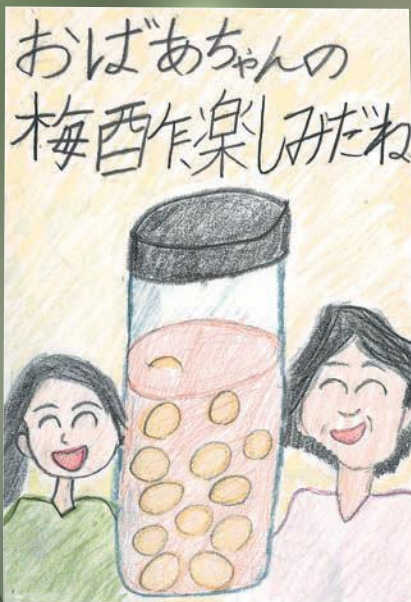
昭和小学校 1年
たにおか みわ
谷岡 心羽



昭和小学校 1年 よこい 横井 心菜



昭和幼稚園 5歳児 かねだ 金田 あいな 愛菜



大正小学校 5年 ほりえ 堀江 みき 美希



大正小学校 4年 おぎの 荻野 きあら 希愛来



大江小学校 3年 どい 土井 さやか 紗也佳

「家族だんらんの日」推進企業・団体を募集中！

「家族だんらんの日」をより浸透させていくため、この取組をともに推進いただける福知山市内の企業・団体を募集しています。職場の皆さまが家族（地域の人やご友人も含むご自身の大切な人）との絆を再確認できる1日になるよう、まずは、3つの推進アクションから始めてみませんか？主旨に賛同し、推進いただける企業・団体名を市ホームページに掲載させていただきます。

オンライン申込も可能です。詳しくはこちらの二次元バーコードから（市ホームページにアクセスします。）

